

教 育 研 究 業 績 書

令和 5年 4月 1日

氏 名 桜 井 裕 子

研 究 分 野	研究内容のキーワード	
身体教育学	体育科教育、フィットネス、表現運動、小学校体育科	
教 育 上 の 能 力 に 関 す る 事 項		
事 項	年 月 日	概 要
1 教育方法の実践例		
① 和歌山信愛女子短期大学附属幼稚園のダンス指導の実施	平成 28年 4月 ～平成 31年 3月 平成 31年 4月 ～令和 3年 3月 令和 3年 4月 ～現在に至る	ZUMBA kid's の指導を行った。 国名や国旗などの学習や、簡単な英単語を学びながら ZUMBA を体験させた。(年間 3 曲) ZUMBA の指導に加え、リズムトレーニングをウォーミングアップに導入し、リズムに合わせて様々なジャンプを行った。 リズムトレーニングで様々なジャンプを行い、リズム感を養うと共に、リズムに合わせて、ボールを投げたり、キャッチしたりなど、運動へと繋がるような指導を行った。
② 和歌山信愛女子短期大学附属幼稚園児の体育指導の実施	平成 31年 4月 ～令和元年 3月	グラウンドを使用し、体力測定を行い、様々な動作(走る・投げる・引っ張るなどを中心)を取り入れた運動遊びを行った。
③和歌山信愛女子短期大学での「保健体育実技」の指導補助の実施	平成 26年 4月～ 平成 30年 10月	体育実技の指導補助や、ダンスの時間ではレッスン形式でエアロビクスや ZUMBA などの指導を行った。
⑥和歌山信愛女子短期大学 保育科(助手)における実績	平成 31年 4月 ～令和 2年 3月	「保健体育実技・講義」「保育内容演習(健康)」「保育内容演習(身体表現)」「幼児体育」などの実技科目に入り、授業の補助や授業内容について学んだ。また、その他の保育科の授業を見学し、「保育」についての知識を深めた。
⑦和歌山信愛女子短期大学生活文化学科での科目「保健体育実技」における授業の実施	令和 2年 4月 ～現在に至る	和歌山信愛女子短期大学生活文化学科生活文化専攻・食物専攻の実技科目「保健体育実技」(1年次配当、2単位)において実践した。「生涯スポーツ」をテーマに実技を行っている。その中で、より良く動ける身体作りを目指し、様々な面からアプローチする方法を伝えている。
⑧和歌山信愛女子短期大学生活文化学科での科目「保健体育講義」における授業の実施	令和 2年 4月 ～現在に至る	和歌山信愛女子短期大学生活文化学科生活文化専攻・食物専攻の講義科目「保健体育講義」(1年次配当、1単位)において実践した。本講義では、生涯を健康的に過ごすことができるよう、食事、睡眠、運動など様々な面から「健康」をテーマで実施している。
⑦和歌山信愛女子短期大学保育科での科目「保健体育実技」における授業の実施	令和 3年 4月 ～現在に至る	和歌山信愛女子短期大学保育科の実技科目「保健体育実技」(1年次配当、2単位)において実践した。「生涯スポーツ」をテーマに実技を行っている。その中で、より良く動ける身体作りを目指し、様々な面からアプローチする方法を伝えている。
⑧和歌山信愛女子短期大学	令和 3年 4月	和歌山信愛女子短期大学保育科の講義科目「保

<p>保育科での 科目「保健体育講義」における 授業の実施</p>	<p>～現在に至る</p>	<p>健体育講義」(1年次配当、1単位)において実践した。本講義では、生涯を健康的に過ごすことができるようになるよう、食事、睡眠、運動、女性の身体についてなど様々な面から「健康」をテーマで実施している。</p>
<p>2 作成した教科書、教材 ① ②</p>		
<p>3 教育上の能力に関する大学等の評価 ① 和歌山信愛女子短大学学生による授業評価アンケート結果における評価</p>	<p>令和2年12月</p>	<p>大学において前期・後期に各1回実施されている学生による授業評価アンケートによると、本人が担当の「保健体育実技」は、教員の教え方が4.88点、授業内容が4.88点であった。全体平均(順に4.38点、4.26点)を比較的に上回っているため、学生の満足度は高かったと言える。</p>
<p>4 実務の経験を有する者についての特記事項 ① 和歌山信愛高等学校バスケットボール部のリズムトレーニング指導 ②和歌山県中紀地区ミニバスケットボール対象リズムジャンプ講師 ③ 和歌山県立田辺高等学校女子バスケットボール部のリズムトレーニング講師 ④和歌山市保育連合会主催「第36回親と子のふれあいデー」リズムジャンプ講師 ⑤和歌山信愛高等学校ソフトテニス部のリズムトレーニング指導 ⑥和歌山市立西脇中学校男子バスケットボール部のリズムトレーニング講師 ⑦日高川町立三百瀬小学校 体育科授業(リズムジャンプ)講師 ⑧和歌山市立太田小学校 体育科授業(リズムジャンプ)講師</p>	<p>平成31年4月～令和3年12月 平成31年4月30日 令和元年9月29日 令和元年11月4日 令和元年10月～令和2年12月 令和元年12月1日 令和2年11月30日 令和2年12月17日</p>	<p>月に2回(1回約20分)、リズムトレーニング指導を行っている。約30名の部員に、基礎的なものから、ボールを使用したものなどを組み合わせ指導を行っている。 和歌山県中紀地区のミニバスケットボール所属メンバー(計5チーム)にリズムトレーニングを行った。約90名の男女小学生(3～6年生)に、バスケットボールにおけるリズムの必要性を伝え、自身が持っているリズム感チェックを行ったのち、リズムトレーニング指導を行った。基礎的なものを中心に様々なジャンプを行った後、高学年のみ30分間、応用ジャンプの指導を行った。 12名の学生に、バスケットにおけるリズムの必要性等を説明し、基礎的なものを中心にリズムトレーニング指導を行った。 親子ふれあいイベントに講師として参加。和歌山市内の親子約600名に、リズムに合わせて、親子で楽しめる様々なジャンプを指導した。 週に1回度、約30名の部員に、基礎的なものから、テニスに関連する動作などを取り入れ、リズムトレーニングの指導を行った。 16名の部員に、バスケットにおけるリズムの必要性を説明し、基礎的なものを中心にリズムトレーニング指導を行った。 小学校3～6年生24名に、体育科の授業の中でリズムトレーニングの指導を行った。体づくり運動、表現運動の領域として、様々なジャンプを学習したのち、全てのジャンプを繋げ「紅蓮華」に合わせて振り付けを覚え、発表した。 小学校2年生54名に、体育科の授業の中でリズムトレーニングの指導を行った。体づくり運動の領域として、リズムに合わせて体を動かす心地よさを学習させた。</p>

⑨和歌山市立芦原小学校 体育科授業（リズムジャンプ）講師	令和 2 年 12 月 18・22 日	小学校 5・6 年生 24 名に、体育科の授業の中でリズムトレーニングの指導を行った。体づくり運動、表現運動の領域として、様々なジャンプを学習したのち、全てのジャンプを繋げ「紅蓮華」に合わせて振り付けを覚え、後半は創作させ、発表した。
⑩和歌山県女子バスケットボール選抜 U14 のリズムトレーニング講師	令和 3 年 1 月 9 日	和歌山県の選抜メンバー 15 名に、バスケットにおけるリズムの必要性等を説明し、基礎的なものを中心にリズムトレーニングの指導を行った。
⑪和歌山市立和歌山高等学校バスケットボール部のリズムトレーニング指導	令和 3 年 3 月 23 日	20 名の部員に、バスケットにおけるリズムの必要性等を説明し、基礎的なものを中心にリズムトレーニングの指導を行った。
⑫体育 ICT 研究会 GW「運動遊び」オンライン講座 ファシリテーター	令和 3 年 5 月 1～3 日	体育 ICT 研究会研究推進委員長、鈴木直樹先生（東京学芸大学准教授）の元、幼児から小学生に、オンラインで他の地域の子どもたちと関わり、一緒に遊びながら休日を過ごすプログラムを行なった。 1 日目は「フィットネス遊び」、2 日目は「ボールゲーム」、3 日目は「リズムダンス」という内容で、ZOOM を活用し、全国の約 50 名の子ども達が参加し、トークルームに分かれた際のファシリテーターを行った。
⑬橿原市立八木中学校女子バスケットボール部のリズムトレーニング指導	令和 3 年 7 月 30 日 12 月 12 日	20 名の部員に、バスケットにおけるリズムの必要性等を説明し、基礎的なものを中心にリズムトレーニングの指導を行った。
⑭和歌山市立西脇中学校女子バスケットボール部・女子バレー部のリズムトレーニング講師	令和 3 年 8 月 8 日	バスケットボール部 16 人、バレー部 15 人に対して、各競技に必要なリズムの説明を行いながらリズムトレーニングの指導を行った。
⑮和歌山市立雑賀小学校 体育科授業（運動会振付指導及び表現）講師	令和 3 年 9 月 16 日 ～10 月 28 日	小学校 4 年生 120 名に対しての運動会の振付指導に加え、4 クラス（1 クラス 30 人）2 時間ずつ、表現の授業を行った。 リズムジャンプを取り入れ、5 人ずつのグループに分かれ創作活動を行い、単元終了時に発表・鑑賞を行った。
⑯和歌山市立太田小学校 体育科授業（リズムジャンプ）講師	令和 3 年 12 月 6・16 日	小学校 1 年生 56 名、2 年生 62 名に、体育科の授業の中でリズムトレーニング指導を行った。体づくり運動の領域として、リズムに合わせて体を動かす心地よさを学習させた。
⑰和歌山市立西脇中学校女子バスケットボール部のリズムトレーニング講師	令和 4 年 1 月 3 日	15 名の部員に、基礎的なものから、ボールを取り入れ、バスケットボールの動きを組み込みながらリズムトレーニング指導を行った。
⑱美浜町バトミントクラブのリズムトレーニング指導	令和 4 年 1 月 5 日	小学 2 年生から中学 2 年生の男女 20 名に対して、リズムの必要性の説明を行いながら、バトミントンの動きに関連付け、リズムトレーニングの指導を行った。
⑲和歌山市立雑賀小学校 体育科授業（運動会振付指導及び表現）講師	令和 4 年 5 月 31 日 ～9 月 19 日	小学校 5 年生 120 名に対しての運動会の振付指導に加え、4 クラス（1 クラス 30 人）5 時間ずつ、表現の授業を行った。 リズムジャンプを取り入れ、7 人ずつのグループに分かれ創作活動を行い、単元終了時に発表・鑑賞を行った。

⑳和歌山市立楠見中学校男女バスケットボール部のリズムトレーニング講師	令和4年 8月16日 ～現在に至る	月に2回（1回約30分）、リズムトレーニング指導を行っている。23名の部員に、バスケットボールの動きと連携させながら、基礎的な動きや、ボールを使用したものなどを組み合わせ指導している。
㉑橿原市立八木中学校女子バスケットボール部・女子バレーボール部のリズムトレーニング指導	令和4年 8月29日	バスケットボール部19名、バレー部30名に対して、各競技に必要なリズムや身体の使い方について説明を行いながらリズムトレーニングの指導を行った。
㉒和歌山県立有田中央高等学校体育科授業（1年生）講師	令和4年 12月9日	1組35名、2組28名の1クラスごとに、動かしやすい身体の使い方やストレッチ方法、リズムトレーニングなどを取り入れ、体育指導を行った。
㉓和歌山県立有田中央高等学校全クラブ合同 リズムトレーニング指導	令和4年 12月9日	野球、卓球、ダンス、バスケットボール部の高校1・2年生に対して、各競技に必要なリズムの説明を行いながら、リズムトレーニングの指導を行った。
㉔和歌山市立太田小学校 体育科授業（リズムジャンプ）講師	令和5年5月 2月20日	小学校2年生62名、5年生60名に、体育科の授業の中でリズムトレーニング指導を行った。体づくり運動の領域として、リズムに合わせて体を動かす心地よさを学習させた。
㉕和歌山県立田辺中学校新1年生オリエンテーションリズムトレーニング指導	令和5年 4月20日	男女80名に対し、中学校生活を送るにあたり、学習面や運動面で必要になってくる力を伝えながら、90分間リズムトレーニング指導を行った。
5 その他 ① ②		

職務上の実績に関する事項

事項	年月日	概要
1 資格、免許		
①日本フィットネス協会 エアロビックダンスインストラクター	平成22年3月	
②中学校教諭 一種免許状 (保健体育)	平成23年3月	平二二中一第三七八号 (大阪府教育委員会)
③高等学校教諭 一種免許状 (保健体育)	平成23年3月	平二二高一第六三一号 (大阪府教育委員会)
④日本バスケットボール協会 JBA 公認C級コーチ	平成24年3月	
⑤柔道 初段	平成25年2月	
⑥ZUMBA インストラクター BASIC1 インストラクター	平成25年12月	
⑦ZUMBA インストラクター BASIC2 インストラクター	平成26年8月	
⑧ZUMBA Kid's インストラクター	平成28年5月	
⑨AFFA 認定 プライマリー・ フィットネス・インストラクター	平成29年3月	
⑩日本幼少年体育協会 幼児体育指導者2級	平成29年8月	

<p>⑪上級救命技能認定</p> <p>⑫一般財団法人日本コンディショニング協会 JCCA 認定 コアフォーストレーナー</p> <p>⑬一般財団法人 日本コンディショニング協会 ひめトレ普及員</p> <p>⑭スポーツリズムトレーニング協会 DEFFUSER</p> <p>⑮スポーツリズムトレーニング協会 インストラクター</p> <p>⑯幼少年体育指導士</p> <p>⑰ZUMBA インストラクター GOLD インストラクター</p> <p>⑱スポーツリズムトレーニング協会 リズムステップインストラクター</p>	<p>平成 29 年 8 月</p> <p>平成 30 年 8 月</p> <p>平成 30 年 9 月</p> <p>平成 30 年 11 月</p> <p>平成 31 年 3 月</p> <p>令和 元年 9 月</p> <p>令和 2 年 10 月</p> <p>令和 3 年 3 月</p>	
<p>2 特許等</p> <p>①</p> <p>②</p>		
<p>3 実務の経験を有する者についての特記事項</p> <p>① 第 13 回全国フライトエアロビック選手権大会</p> <p>第 14 回全国フライトエアロビック選手権大会</p> <p>第 15 回全国フライトエアロビック選手権大会</p>	<p>平成 30 年 2 月</p> <p>平成 31 年 2 月</p> <p>令和 2 年 2 月</p>	<p>女子 1 31 位</p> <p>女子 2 15 位</p> <p>女子 2 12 位</p>
<p>4 その他</p> <p>①</p> <p>②</p>		

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書) 1 2 3				
(学術論文) 1 5歳児における運動能力調査の比較～エアロビック動作の影響に関する一考察～	単著	令和2年3月	「和歌山信愛女子短期大学 信愛紀要 No.61」 p.51-p.56	現在、幼少年期の体力低下が問題視されているため、研究者が運動指導を行っている現場の状況を把握し、エアロビクスダンスのレッスン内容および、エアロビック動作（技）の習得度の差が、5歳児の運動能力にどのような影響を及ぼしているのかについて、2016年と2019年に実施した運動能力調査の結果を比較し、エアロビック動作の有効性について考察を行った。
2 子どもの表現を育むための授業実践に関する考察	共著	令和2年3月	「和歌山信愛女子短期大学 信愛紀要 No.61」 p.43-p.49	子どもにとって表現とはどのようなもので、何故担う活動が必要なのかという問題意識を抱き、かつ実践へと繋げていくためには、教育者としての「表現」にまつわる体験が必要条件であると考えた。「子どもの表現」の授業において音楽・身体・造形を総合的に取り扱う「体験」を着眼点とし、教育実践に基づき(1)本授業内で扱った内容が現場で活かされるものとして妥当なのか。(2)学生自身が本授業での体験をどのように受け止めているか。対象学生へ「授業実践後」と「教育実習終了後」にアンケート調査を行い、得られた結果の比較から考察を行った。
3 教育現場で行われている表現に関する実態調査と領域の内容に関する考察	共著	令和2年3月	「和歌山信愛女子短期大学 信愛紀要 No.61」 p.37-p.42	表現力の基盤は人格形成がなされていく幼児期の経験が大きく影響し、表現方法を身につけるには、様々な体験や経験によって培われていく。保育現場の行事における表現活動は子どもたち自身からの表現ではなく、保育者に「やらされている」「させられている」姿になっているのではないかと考え、保育者が子どもに対し、どのようなことに気をつけ、またどのような表現の経験が必要かを明らかにするために保育者を対象にアンケート調査を行い検討を行った。
				共著者：今西香寿、野村真弘、種田葉子、 <u>石川裕子</u> 本人担当部分：アンケート結果のデータ分析を行った。
				共著者：今西香寿、野村真弘、種田葉子、 <u>石川裕子</u>

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
4 小学校におけるリズムダンスの実践～リズムジャンプを用いた創作活動～	単著	令和4年3月	「和歌山信愛女子短期大学 信愛紀要 No.63」 p.39-p.45	本人担当部分：アンケート結果のデータ分析を行った。 主体的な学習指導が求められるようになったものの、表現運動の指導現場では、既成のダンスを一方向的に教える授業スタイルが多くみられる。リズムジャンプを取り入れ、教師が一方向的に指導する「一斉型授業」とグループで創作させる子ども中心の「放任型授業」のハイブリッド形式で授業をデザインし、2時間単元と4時間単元での実践を行い、その達成度と形成的授業評価を用いて学びの検証を行った。
5 小学校体育科での表現運動の実践－没頭度と感想文の分析による検証－	共著	令和5年2月	「和歌山大学 教育学部紀要－教育科学－第73集」 p.35-p.41	表現運動単元において、毎時間の前半には表現、後半にはリズムダンスをゴールフリーな学習として実践し、その結果を検討した。その結果、他者の真似の段階から自ら表現し、作品として踊る段階まで学習が進んだと捉えることができ、自分なりの表現に近付けることができた。さらに、表現におけるくずしの学習が、これらの認識の変化を生み出した。
6 小学校におけるリズムダンスの実践－ダンス学習で育むコミュニケーション能力－	単著	令和5年3月	「わかやま子どもセンタージャーナル 第4号」 p.47-p.53	共著者：村瀬浩二、石川裕子、則藤一起 本人担当部分：4つのくずしの分析を行い、「はじめに」の文章作成を行った。 ダンスの授業における創作活動は「課題解決学習」であり、身体を使った「体験学習」であり、創作の過程においては「調査学習」であるなど、様々なアクティブ・ラーニングの形態を持つ。学習指導要領改訂に伴い、保健体育科においても言語活動の充実が求められるようになったため、小学第5学年で表現運動のリズムダンスの授業を5時間単元で実施し、グループワークでの創作活動を行い、その達成度と形成的授業評価を用いて学びの検証を行った。
(その他) 「学会発表」 1 2 3 「 1	— — —			

研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
2 3 「 」 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12				